

第481回 定期演奏会

The 481st Subscription Concert

2020.4-2021.3シーズン

〈 生誕250年記念
トリビュート・トゥ・ベートーヴェン
シリーズ 〉

2020.4-2021.3 Season "Tribute to BEETHOVEN" Series



2020年7月10日(金) 18:45 開演 | 11日(土) 16:00 開演

6:45pm, Friday July 10 / 4:00pm, Saturday July 11, 2020
※開場は各日とも開演の45分前

愛知県芸術劇場コンサートホール
Aichi Prefectural Arts Theater Concert Hall

〈田園〉

ジョン・レイフス:
ベートーヴェンの主題によるパストラル変奏曲 作品8
[日本初演]
J. Leifs: Variationen Pastorale, Op. 8 (Variations on a Theme by L.v. Beethoven) [Japan Premiere]

バルトーク:
2台のピアノと打楽器のための協奏曲 Sz.115*
B. Bartók: Concerto for Two Pianos & Percussion, Sz.115

ベートーヴェン:
交響曲第6番へ長調 作品68『田園』
L. v. Beethoven: Symphony No. 6 in F major, Op. 68 "Pastoral"

料 金 1回券(税込)

S席: ¥7,400 / A席: ¥6,400 / B席: ¥5,200 / C席: ¥4,200 / D席: ¥3,200 (定期会員券で完売)

Y席: ¥1,000 (25歳以下対象、当日券のみ) ※車椅子席あり (車椅子利用者(介添人1名含)対象/¥5,120)

割引(名フィル・チケットガイドのみ取扱)

いきいき割引(S-D席を20%割引): 65歳以上または障害者手帳所持者(介添人1名含)対象

ユース割引(S-C席を50%割引): 25歳以下対象

発売日 2020年3月11日(水) 9:00

お申込み 名フィル・チケットガイド(9:00~17:30/土日祝休) Tel.052-339-5666

① 電話・ネット申込手数料が無料になりました。この機会に、ぜひご利用ください!

www.nagoya-phil.or.jp

名フィル 検索

主 催: 公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団
後 援: 愛知県・愛知県教育委員会・名古屋市・名古屋市教育委員会・
公益財団法人名古屋文化振興事業団・中日新聞社・CBCテレビ
助 成: 公益財団法人アフィニス文化財団



アントニ・ヴィット(指揮)

Antoni WIT, Conductor

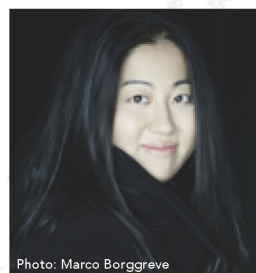


Photo: Marco Borggreve



小菅優, 居福健太郎(ピアノ)*

Yu KOSUGE & Kentaro IFUKU, Piano



窪田健志, ジョエル・ビードリツキー

(打楽器/名フィル首席奏者)*

Takeshi KUBOTA & Joel BIEDRZYCKI, Principal Percussion

第481回 定期演奏会

2020.4-2021.3 シーズン

〈生誕250年記念 トリビュート・トゥ・ベートーヴェン〉シリーズ

「トリビュート・トゥ・ベートーヴェン」シリーズの4回目には、牧歌的な名旋律で人気の高い《田園》を、好評につき名フィルに3回目の登場となるポーランドの名匠アントニ・ヴィットを迎えて贈ります。演奏会の冒頭には、大西洋の孤島アイスランドの作曲家ヨン・レイフスの作品をどうぞ。若い頃からベートーヴェンに傾倒したレイフスは、「ハイリゲンシュタットの遺書」をアイスランド語に翻訳までしているとか。《パストラーレ変奏曲》は愛するベートーヴェンの「セレナード」をテーマに、10の変奏曲で成り立っています。2つの「田園」に挟まれたバルトークの《協奏曲》は、2台のピアノに2人の打楽器奏者を要する異色作。視覚的にも楽しめる作品です。



Photo: Jaroslaw Deluga-Gora

アントニ・ヴィット (指揮) Antoni WIT, Conductor

最も偉大なポーランド人指揮者の一人であり、ポーランド音楽の権威として知られている。1971年のカラヤン国際指揮者コンクールで最高位入賞を果たし、ザルツブルク復活祭音楽祭でカラヤンのアシスタントを務めた。その後国内主要オーケストラで要職を歴任し、2001年からは12年間にわたりワルシャワ国立フィルの総監督・芸術監督を務めている。国外においても国際的なキャリアを築いており、ベルリン・フィル、クリーヴランド管、ブダペスト祝祭管、ドレスデン・シュターツカペレ、サンクトペテルブルク・フィルなどの主要オーケストラに客演。これまでに200枚を超えるCDをリリースしており、グラミー賞のほか様々な賞を受賞している。

小菅 優 (ピアノ)

Yu KOSUGE, Piano



Photo: Marco Borggreve

2005年カーネギー・ホールで、翌2006年にはザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビュー。ドミトリエフ、デュトフ、小澤等の指揮でベルリン交響楽団等と共演。2010年ザルツブルク音楽祭でボゴレリッチの代役として出演。その後も世界的な活躍を続ける。現在は様々なベートーヴェンのピアノ付き作品を徐々に取り上げる新企画「ベートーヴェン詣」に取り組む。2014年第64回芸術選奨音楽部門文部科学大臣新人賞、2017年第48回サントリー音楽賞受賞。2016年秋、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全集完結記念ボックスセットをリリース、2017年秋より4つの元素「水・火・風・大地」をテーマにした新リサイタル・シリーズ「Four Elements」に取り組んでいる。

居福 健太郎 (ピアノ)

Kentaro IFUKU, Piano



東京芸術大学を経て同大学院修士課程修了。これまでに東京交響楽団、日本フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢など数多くのオーケストラと共演。室内楽奏者としてヘンリック・ヴィーゼ(バイエルン放送交響楽団首席奏者)、ユルンヤコブ・ティム(ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団首席奏者)、五嶋龍、戸田弥生、山崎伸子など多くの奏者と共演し強い信頼を得ている。また歌曲伴奏にも積極的に取り組んでいる。後進の指導にも力を入れており、東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校非常勤講師を経て、現在東京芸術大学非常勤講師。

窪田 健志 (打楽器/名フィル首席奏者)

Takeshi KUBOTA, Principal Percussion



1983年大阪生まれ。東京藝術大学卒業後、同大学院修士課程修了。PMF、宮崎国際音楽祭等に参加。芸大フィル、名フィル等と協奏曲を共演。2013年からリサイタルを再開し、東京オペラシティ「BーC」やムジカーザ主催公演に、委嘱曲と共に出演。名古屋市民芸術祭賞、青山音楽賞の他、昨年の大阪公演は文化庁芸術祭優秀賞を受賞。今夏にはソロCDをオクタヴィア・レコードより発売予定。菊里高校音楽科、名古屋音楽大学の各講師も務める。趣味はタップダンス。

ジョエル・ビードリツキー (打楽器/名フィル首席奏者)

Joel BIEDRZYCKI, Principal Percussion



アメリカ、ニューハンプシャー州出身。ニューハンプシャー大学音楽学部、リン音楽大学院修了。N.スミス(ポートランド交響楽団首席打楽器)、E.アトキヤツ(元シカゴ交響楽団首席打楽器)に師事。これまでにタングルウッド音楽祭、PMF音楽祭など多数の音楽祭に参加。2011年から2014年まで兵庫芸術文化センター管弦楽団ティンパニ・打楽器奏者として在籍。2014年4月、名古屋フィルハーモニー交響楽団に入団、現在首席打楽器奏者を務める。

その他のチケット取扱

チケットぴあ(Pコード:176-190)	☎ 0570-02-9999	🌐 t.pia.jp
芸文プレイガイド	☎ 052-972-0430	🌐 www.playguide.co.jp
名鉄ホールチケットセンター	☎ 052-561-7755	🌐 www.e-meitetsu.com/mds/hall
名古屋市文化振興事業団チケットガイド	☎ 052-249-9387	🌐 www.bunka758.or.jp
※その他大学生協でも取扱		

託児サービス

お子さま1名につき: ¥1,000(税込)
※未就学児童(満1歳以上)対象、要事前予約
※演奏会の3日前(土日祝を除く)まで受付

お申込み



ポピンズナニーサービス名古屋
☎ 052-541-2100

ご注意

※未就学児童のご入場は、保護者同伴の場合でもご遠慮ください。 ※お申込みいただいたチケットのキャンセル・変更は受付していません。 ※やむを得ぬ事情によって、出演者・曲目などを変更する場合がございます。 ※開演後は入場制限がございますので、時間に余裕を持ってご来場ください。



愛知県芸術劇場コンサートホール

〒461-8525 名古屋市中区東桜1-13-2
愛知県芸術文化センター4F

www.aac.pref.aichi.jp

市営地下鉄東山線・名城線「栄」駅より徒歩3分
名鉄瀬戸線「栄町」駅より徒歩2分

※いずれもオアシス21から地下連絡通路
または2F連絡橋経由